

2019年9月2日

各位

## JX-ENEOSサンフラワーズ 選手追加登録について

当社（社長：大田 勝幸）の女子バスケットボール部「JX-ENEOSサンフラワーズ」（ヘッドコーチ：梅崎 英毅）は、この度、昨シーズン限りで現役生活を退いた吉田 亜沙美を選手として追加登録し、2019 - 2020シーズンに臨むことになりましたので、お知らせいたします。

JX-ENEOSサンフラワーズは、本シーズンもWリーグと全日本バスケットボール選手権大会（皇后杯）の二冠を目標とし戦って参りますので、引き続き温かいご声援をよろしく願いたします。

### <吉田選手コメント>

この度、JX-ENEOSサンフラワーズの選手としてチームに合流することになりました。今年3月末に開いた会見までは、現役引退を決断したことに対する後悔や戸惑いなどは微塵もありませんでした。

しかしながら、その後あらためて自分と向き合い、これまでの長きに亘る選手生活をゆっくり振り返る中で、色々なバスケの試合やプレーする子供たちの姿を見たときに、心の底からやっぱり『バスケットボールが大好きなんだな』と思える瞬間が幾度となくあり、それが日に日に私の心を満たしていきました。それが、『もう一度選手として、挑戦をしてみたい』という強い気持ちに変わり、関係者の皆さまと相談の上、再度サンフラワーズの選手として登録させていただくこととなりました。

引退会見まで開きながらこのタイミングですぐに選手復帰するという事は、自身の我儘だとは重々承知しておりますが、コートでのプレーで皆様にお応えしたいと思っています。

私にチャンスを与えて下さったことに対し、チーム、バスケ関係者、ファンの皆さまへの感謝の気持ちを忘れずに、これまで以上の気持ちを持ってバスケットボールに打ち込んで参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



## とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

<プロフィール>

- ◆名前 : 吉田 亜沙美 (よしだ あさみ)
- ◆ポジション : ガード
- ◆生年月日 : 1987年10月9日 (31歳) 東京生まれ
- ◆サイズ : 166cm 62kg
- ◆血液型 : A型
- ◆出身校 : 東京成徳大高
- ◆年度別成績 :

| 年度   | CAP | Wリーグ  |                           | 皇后杯   |        | 日本代表 (対象: 出場した大会)       |        |
|------|-----|-------|---------------------------|-------|--------|-------------------------|--------|
|      |     | チーム成績 | 個人タイトル                    | チーム成績 | 個人タイトル | チーム成績                   | 個人タイトル |
| 2006 |     | 優勝    | ルーキーオブザイヤー                | 3位    |        | アジア競技大会3位               |        |
| 2007 |     | 2位    |                           | 2位    |        | アジアカップ3位                |        |
| 2008 |     | 優勝    | プレーオフMVP                  | 優勝    |        |                         |        |
| 2009 |     | 優勝    |                           | 優勝    | ベスト5   | 東アジア競技大会3位<br>アジアカップ3位  |        |
| 2010 |     | 優勝    |                           | 優勝    | ベスト5   | アジア競技大会3位<br>ワールドカップ10位 | アシスト王  |
| 2011 |     | 優勝    | プレーオフMVP、<br>シーズンMVP、ベスト5 | 優勝    | ベスト5   | アジアカップ3位                |        |
| 2012 |     | 優勝    | ベスト5、アシスト王、<br>スティール王     | 2位    |        |                         |        |
| 2013 |     | 優勝    | ベスト5、アシスト王                | 優勝    | ベスト5   | 東アジア競技大会2位<br>アジアカップ優勝  | ベスト5   |
| 2014 |     | 優勝    |                           | 優勝    | ベスト5   |                         |        |
| 2015 | ○   | 優勝    | プレーオフMVP、ベスト5、<br>アシスト王   | 優勝    | ベスト5   | アジアカップ優勝                | ベスト5   |
| 2016 | ○   | 優勝    | プレーオフMVP、ベスト5、<br>アシスト王   | 優勝    | ベスト5   | リオオリンピックベスト8            | アシスト王  |
| 2017 | ○   | 優勝    | プレーオフMVP                  | 優勝    |        | アジアカップ優勝                |        |
| 2018 | ○   | 優勝    | ベスト6マン                    | 優勝    |        |                         |        |

※Wリーグ優勝12回(チームの優勝回数は22回)、皇后杯での優勝10回(チームの優勝回数は23回)に貢献